2005 レナードージョンーンズ流体におけるポテンシャルエネル ギーの揺らぎとファン・デル・ワールス型状態方程式 〇片岡洋右(法政大生命科学). 山田祐理(法政大生命科)

1. はじめに

レナード・ジョーンズ(LJ)系の PVT関係は定性的には $Van\ der\ Waals\ EOS(VdW)$ で説明できる。しかし、内部エネルギーの温度体積依存性は定性的にも不十分である。 VdW では定容熱容量が一定である。そこで分子動力学シミュレーションで VdW VdW

2. シミュレーション手法

基本セルに含まれる分子数は 1000 個である。立方体のセルで周期境界条件を課した。 プログラムは Materials Explorer v4 と v5 である。初期配置は単純立方格子である。 どの温度・密度においても同一の初期配置を使用した。時間刻みは Hernandez 法では 10 fs、 ギア法では 1 fs である。計算したステップ数は 100 万ステップである。 NTV アンサンブルで圧力と内部エネルギーを求めた。

3. 理論

この節では、統計力学的な VdW EOS の導かれ方を振り返える。温度 T, 体積 V、質量が m の N個の球形分子からなる系を考える。カノニカル分配関数 Q(N,V,T) は次の式で与えられる。[McQuarrie]

$$Q(N,V,T) = \frac{1}{N!} \left(\frac{2\pi mkT}{h^2} \right)^{3N/2} Z_N$$
 (1)

$$Z_N = \int_V e^{-U(r_1, \dots, r_N)/kT} dr_1 \dots dr_N \tag{2}$$

ここでkはボルツマン定数である。 $U(r1, \cdot \cdot \cdot, rN)$ は全系のポテンシャルエネルギーである。 Z_N は配置積分を呼ばれる。完全気体の値は次のようになる。

$$Z_N = V^N \tag{3}$$

カノニカルアンサンブルでは、熱力学量と分配関数は次の関係は持つ。

$$A(N,V,T) = -kT \ln Q(N,V,T) \tag{4}$$

$$p = kT \left(\frac{\partial \ln Q}{\partial V} \right)_{N,T} \tag{5}$$

これに対し、VdW EOS は実在気体を説明するために、分子間相互作用を近似的に取り入れる。統計力学的には、剛体球系を参照系とする摂動法を用いる。N 粒子系の全ポテンシャルエネルギーを 2 つの部分に分ける。

$$U_N = U_N^{(0)} + U_N^{(1)} \tag{7}$$

ここで $U_N^{(0)}$ は、参照系のポテンシャルエネルギーであり、 $U_N^{(1)}$ は摂動項である。ポテンシャルの配置についての積分はつぎのようになる。 $\beta=1/kT$ である。

$$Z_{N} = \int \cdots \int e^{-\beta(U_{N}^{(0)} + U_{N}^{(1)})} dr_{1} \cdots dr_{N}$$

$$Z_{N} = \int \cdots \int e^{-\beta(U_{N}^{(0)} + U_{N}^{(0)})} dr_{1} \cdots dr_{N} \frac{\int \cdots \int e^{-\beta(U_{N}^{(0)} + U_{N}^{(1)})} dr_{1} \cdots dr_{N}}{\int \cdots \int e^{-\beta(U_{N}^{(0)} + U_{N}^{(0)})} dr_{1} \cdots dr_{N}}$$
(8)

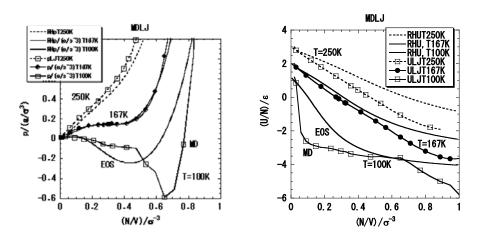
$$Z_{N} = Z_{N}^{(0)} \left\langle \exp\left(-\beta U_{N}^{(1)}\right) \right\rangle_{0} \tag{9}$$

ここで参照系として剛体球系を選ぶことにする。

我々は今回、相互作用項をモノマーから 13 量体までのクラスターをもとに近似的にあらわした。今回は剛体球の部分に Ree-Hoover 型の状態方程式を適用した。

4. 計算結果

三つの温度におけるpとUを密度にたいしてプロットして、状態方程式とMDシミュレーションの結果を比較した。定性的に一致している。167Kは臨界温度である。



VdW EOS の場合は Uは右の図では平行な直線となる。

参考文献 D. A. McQuarrie, "Statistical Mechanics", Harper Collins (1976). Ree & Hoover, J. Chem. Phys. <u>40</u>, 939 (1964)